**労働災害防止のための安全管理活動の好事例の提供のお願い**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 基本情報 | ①事業場名（担当者職氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） | ②事業場名公表の可否（監督署で作成する事例集などの広報資料への掲載の可否です）□可　　□否 |
| ③業種　（書き方：○○製造業　など） | ④事業場の規模（労働者数）□１～９人　□10～49人　□50～100人□100～299人　□300人以上 |

事例１

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ⑤種類（該当するものに☑をつけてください）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 【業種共通で労働災害が多いものへの対策】 | 【その他】 |
| * 総括的な安全管理の方法

例．安全管理体制の構築に関すること、リスクアセスメントの実施と活用に関すること、安全教育の実施方法、機械設備の管理方法、作業手順書の運用に関すること、巡視やパトロールに関すること　など* 業種特有の危険への対策

例．製造業は機械設備へのはさまれ・巻き込まれ、建設業では墜落、社会福祉施設では転倒と腰痛など | * 転倒災害防止
* 高年齢労働者の労働災害防止への配慮
* 効果的な安全教育のやり方
* 近年は転倒と高年齢労働者の両対策として体づくりが求められていますので、この内容への事例提供も積極的にお願いします。
 | * ナッジ※¹を活用した取組み
* 「指差呼称」や「一人ＫＹ」などの注意行動への取組み
* 安全意識の高揚を図る取組み
* その他（自由）
 |

 |
| ⑥取組内容（写真があれば掲載もお願いします。）⑦その他、取組み始めたきっかけや費用の目安なども可能であれば教えてください。 |

［参考（※¹）］ナッジ…行動科学の知見から、望ましい行動をとれるよう人を後押しするアプローチのこと。

［報告にあたってのお願い］

1. 安全管理者等を中心に提供資料の作成をしていただき、各社１事例以上の好事例の提供をお願いします。（可能であれば関連事業場にも呼び掛けをお願いします。）
2. テーマには労働災害が多い内容に対するものとして、「転倒災害防止」「高年齢労働者の労働災害防止への配慮」「効果的な安全教育のやり方」を設定していますが、これらのこと以外であっても構いません。
3. 報告にあたりましては、
4. 様式例を同封していますが、任意様式で提出いただいても構いません。
5. できるだけ写真付きでの報告をお願いします。事例集閲覧時に目にとまりやすくなります。
6. PDFではなく、word・excel・PowerPointのいずれかでの報告をお願いします。事例集作成作業が容易になり助かります。
7. 作成する事例集では一事例につきA4の半分程度での紹介（A4１ページに２事例掲載）を基本として想定しています。
8. 提供事例は制限しませんので、可能であれば多数の提供をお願いします。

エル

ご提出先　：　メール　**ichinoseki-kantokusho@mhlw.go.jp**

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　(担当　一関労働基準監督署　地方産業安全専門官　鈴木)